

(関係者各位)

2022年1月20日
株式会社シノプス
代表取締役 南谷 洋志

伊藤忠商事との業務提携について ～食品デマンド・チェーン・マネジメント構築を目指す～



×



株式会社シノプス（本社：大阪府大阪市、代表取締役：南谷 洋志、以下「シノプス」）は、伊藤忠商事株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 COO：石井敬太、以下「伊藤忠商事」）と食品ロス削減・ホワイト物流推進を目的とした食品デマンド・チェーン・マネジメント⁽¹⁾構築に向けた業務提携契約書を締結いたしました（以下「本契約書」）。本契約書により両社での協業を加速させ、食品バリューチェーンの最適化をともに推進して参ります。

農林水産省の推計⁽²⁾によると2019年度の国内の食品ロス量は年570万トン、このうち商品の製造、流通過程を含む食品関連事業者から発生する事業系食品ロス量は309万トンと半数以上を占めており、食品流通業界は食品ロス削減への対応が求められています。また労働力不足や少子高齢化、物流コストの上昇といった課題が顕在化している中、持続可能な社会の実現に向けて、トラック輸送の生産性の向上・物流の効率化等を通じたホワイト物流推進に対する社会的要請が高まっています⁽³⁾。

■業務提携の概要

1. DCMプラットフォーム構築
小売の需要予測、発注情報及び在庫情報等を小売、物流センター及びメーカーにつなげるシステム全体構築
2. 流通業全体のDX推進
DCMプラットフォームを活用した小売店舗配送、小売共配センター運営及びメーカー物流等の各段階における業務効率化
3. SDGsへの貢献
両社での取組みを通じた食品ロス、CO2排出及び働き方改革等への貢献
4. 合併会社の設立検討
両社で事業を行うことを目的とする合併会社の設立検討

伊藤忠商事は、中期経営計画の基本方針として『「SDGs」への貢献と取組強化』を掲げ、強みを有する生活消費分野で、川下起点のバリューチェーンの変革を推進しています。また、シノプスは消費者に最も近い小売業の需要情報を卸・メーカーに一気通貫で情報連携するデマンド・チェーン・マネジメントを構築し、流通業全体を最適化することを経営戦略の柱としております。

シノプスは小売の販売データに基づいた需要予測値をもとに、自動発注・在庫最適化ソリューションを展開する IT ソリューション企業です。1980 年代から需要予測・自動発注の分野に着目し、開発したシステムは特許も取得しております。需要予測の精度が評価され、主要ターゲットである売上400億円以上の小売業で17%、食品スーパーでは30%以上のシェア率があります。

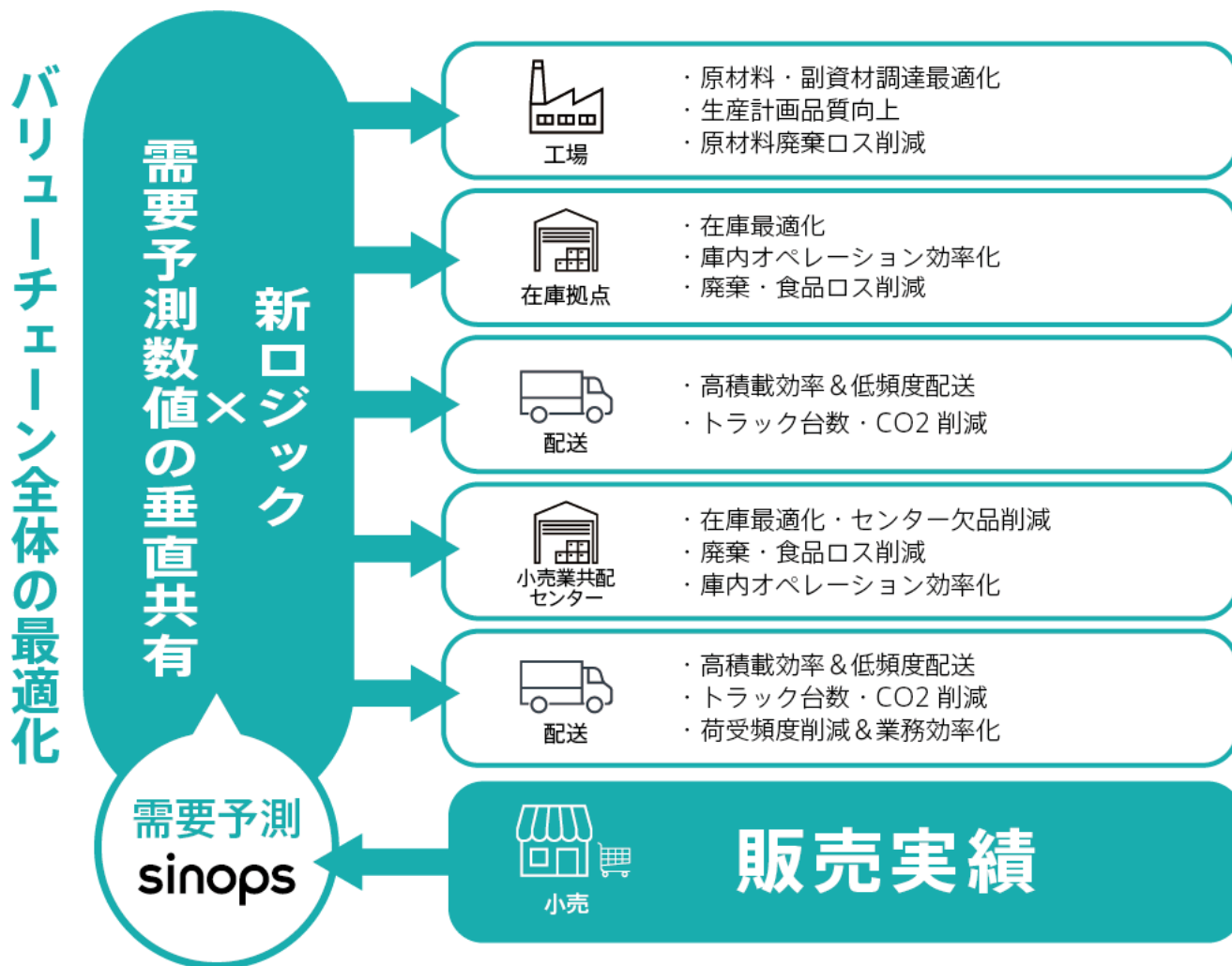
今回の伊藤忠商事との協業によって、伊藤忠商事の持つ多様なネットワークを活かして、両社で小売業の需要情報を卸・メーカーに対しても一气通貫で連携させる食品デマンド・チェーン・マネジメントを構築して参ります。また、将来的には、両社での合併会社設立も視野に入れて、食品ロスの削減やホワイト物流推進運動への貢献を目指します。

※1 デマンド・チェーン・マネジメントとは、需要側（消費者等）から得られる情報を基点として商品開発、生産・供給計画、流通、販売体制などを統合的に編成する情報管理手法。具体的には POS データなどの情報をもとにして、需要予測を行い、生産管理や在庫管理を最適化する。一方、商品の供給側からの情報を基点に行う情報管理手法をサプライチェーンマネージメント（SCM）と呼ぶ。

※2 出典:農林水産省 Web サイト：<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/211130.html>

※3 ホワイト物流推進運動：<https://white-logistics-movement.jp/outline/>

■食品デマンド・チェーン・マネジメント



■伊藤忠商事株式会社 会社概要

会社名	伊藤忠商事株式会社
本社所在地	東京都港区北青山 2 丁目 5 番 1 号
設立	1949 年 12 月 1 日
代表者	代表取締役会長 CEO 岡藤 正広
事業内容	繊維、機械、金属、エネルギー、化学品、食料、住生活、情報、金融の各分野において、国内、輸出入および三国間取引を行うほか、国内外における事業投資など、幅広いビジネスを展開。
URL	https://www.itochu.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社シノプス 管理部 経営企画室

Email : ir@sinops.jp

お問い合わせフォーム : <https://www.sinops.jp/contacts>